



## 習っていないことをつかってはいけないとは？

医療人育成センター講師  
高塚 伸太郎

小学校では、習っていないから使ってはいけないということが多々ある。自分の名前なのに習っていない漢字だからひらがなで書くとか、つるかめ算でエックスを使った代数計算をしてはいけないとかである。

つるかめが合わせて10匹(羽?)いて、足が合わせて32本の時、 $x+y=10$ と $2x+4y=32$ と式を立てて解いてはいけないというのだ。

そう主張するにはそれなりの理由があるのだろうけども、「他の人が読めない」というのはともかく、「簡単に解けてしまう」からダメだというのは納得できない。

これを認めると、授業の意味がなくなってしまうとか、他との差が広がるとか、そのような事情もあるだろうが、そもそも勉強というのは苦勞するものではなく、樂をするためにするものなのだから、簡単に解ける方法で簡単に解く方が良いに決まっている。

この間、算数オリンピックの図形問題を解いたのだが、三角関数を使えば工夫せずに解くことができる問題だったのだが、算数の知識のみで解くことは非常に困難であった。まあ、このような問題は高度な数学が様々な問題を楽に解くことができるツールであることを知らしめるのに意義がある問題なのかもしれないが、三角関数を使ったからと言って×をつけるのは違うのではないか？

それに、「習っていないから使ってはいけない」ということが正しいのならば、納得できないことが小学校にはある。

それは、体育や音楽の授業である。このときばかりは、「習っていない」飛び方をして、「習っていない」フェイントをかけても、「習っていない」曲を演奏できても、「すごいこと」として扱われ、あまつさえ見習いなさい、お手本にきなさい、となるのだ。

これは大いなる矛盾である。

ドリブルしか教えられていない状態でサッカーの練習試合をしている授業のなかで、フェイントをかけ華麗にごぼう抜きをしてシュートした児童がいたとすると、

「教えていないフェイントやシュートをしてはいけません。反則なので減点です。」とするのが矛盾ない教育になるのではないだろうか？ 音楽や図工に関しても同じである。

もちろんそんなことはあり得ない。

演奏者に対して「このような曲は教えていないので演奏してはいけません。」とか、斬新なアイデアを工作した人に対して「こんな工夫は教えていないので、作ったものは壊して作り直しなさい。」という教育をしようと主張する人はいないだろう。このような教育が子供の競争する意思を奪い、興味や好奇心を奪い、伸びしろや可能性を奪うのは明白である。

それならば、国語、算数、理科、社会で「習っていないからダメ」という教育もまた、好奇心や可能性を奪っているのは、また明白ではないだろうか？

体育などで華麗な動きを褒めるならば、図工などで斬新なアイデアを褒めるならば、冒頭のつるかめ算の解き方に対して「すごい解き方ですね。みんなにも方程式のやり方を教えてあげてください。」とするのが良い教育だ。

習ったことしかできないのであれば、コンピュータのプログラムと大差ない。人間には予想できない可能性があり、それが表現されるからこそ興味深いのだ。そのためには自由に学ばせ、自由に表現させることが大切なのではないだろうか。



# メディカルオンラインのご紹介

URL: <http://mol.medicalonline.jp>

Medical\*Online

医学文献の検索・閲覧をはじめ  
医薬品・医療機器・医療関連サービスの  
情報を幅広く提供する。  
最新鋭の医学・医療の総合サイトです。

医学関連分野の文献検索・閲覧や電子書籍の利用などで「メディカルオンライン」をご利用の方も多いかと思えます。今回はこの「メディカルオンライン」の電子書籍について、最新情報や利用の変更点などをご紹介いたします。

本学で閲覧できる電子書籍は「契約書籍一覧」から探すか、「契約書籍で探す」を選択のうえキーワード検索を行ってください。

## 電子書籍で読める本、毎月増えています

配信される電子書籍は毎月増加しています。また、この秋から「金芳堂」「中外医学社」「シービーアール」発行の書籍も閲覧できるようになりました。

## 『日本臨牀』の閲覧制限期間が短縮されました

発行されてから一定の期間（1年または3年）、本文へのアクセスが制限されていましたが、この制限期間が「6ヶ月」に短縮され、これまで以上に利用しやすくなりました。別冊「新領域症候群シリーズ」もお手元のPCからご利用になれます。

（6ヶ月の制限期間中は、これまでどおり図書館の冊子体等をご利用ください）

## 「医中誌 Web」から「メディカルオンライン」の電子書籍へ

お探しの文献が「メディカルオンライン」電子書籍で閲覧できる場合は、「医中誌 Web」のリンクアイコン  から直接文献を読みに行くことができます。

（本学の契約の都合上、閲覧できない雑誌もございます。ご了承ください）

リンク対象	本学での閲覧可能号	
日本臨牀社 別冊	発行から6ヶ月を 経過したもの	
東京医学社 増刊号		
最新医学社 別冊	全件	
メディカ出版 増刊号	2016年発行分まで	

## 最新医学社コンテンツの閲覧終了について

2019年9月の会社解散に伴い、最新医学社の電子書籍利用は2020年3月までとなります。ただし、雑誌『最新医学』（通常号、増刊、別冊）はこれまでどおりご利用いただけます。

学内ネットワークに接続できる環境であれば、読みたい・気になる本をすぐに見つけて読むことができる電子コンテンツ。図書館に置かれている冊子体と併せて、どうぞご利用ください。

# Database@Ovid インターフェース変更のお知らせ!!

EBM(根拠に基づく医療)のデータベース「コクラン・システマティックレビュー」を搭載する【Database@Ovid】のインターフェースが、10月16日(水)から新しくなりました。

従来よりも、「見やすい!」「わかりやすい!」画面構成に加え、新しい機能も追加され、ますます便利になった【Database@Ovid】を是非ご活用ください。

**New!** ■メニュー画面■

各データベースの表示が、アルファベット順になり見やすくなりました!



**New!**

MEDLINE の検索が、1946年~最新年まで続けて検索が可能になりました!

**New!** ■検索画面■

検索画面のデフォルトが日本語になり、利用しやすくなりました!



■アクセス  
情報センターホームページ  
→図書館サービス  
→文献検索カテゴリから  
「Database@Ovid」を選択



**New!**

■検索結果から■  
「Abstract 日本語翻訳」機能が追加されました!



## \* 講習会開催報告 \*

### Evidence Based Medicine Reviews データベース講習会 (参加者 24 名)

10月31日(木)に、「EBMR (Evidence Based Medicine Reviews) データベース講習会」を、基礎医学研究棟5階 PC 実習室で開催しました。講師(発行元: WoltersKluwer 社)の Borys Diakonow 氏により、EBM の代表的な Cochrane Library の CDSR や DARE と ACP Journal Club の内容説明、操作方法等を講義形式で講習を行いました。参加者からは「研究する上で、活用出来そうな事が分かった」、「大変勉強になった」と好評でした。



【Evidence Based Medicine Reviews 講習会の様子】



## スマホ決済、セキュリティを確認して！

皆様はスマホ決済を利用されているでしょうか？

現在、様々なポイント還元や特典があり、2019年流行語大賞のトップ10に「OOPay」が選ばれたり、利用されている方が増えつつあるかと思えます。また、スマホ決済は様々なサービスが存在します。知名度や特典、自身が利用している別のサービスとの兼ね合い等、色々な観点でスマホ決済サービスを利用されているかと思えますが、スマホ決済サービス選択のポイントとして「セキュリティ」はいかがでしょうか？

### スマホ決済サービスは便利な反面、以下のようなリスクがあります

- 正規のQRコードか偽造QRコードか判別出来ない（QRコード決済の場合）
- サービス提供元で発生したセキュリティインシデントによりクレジットカード番号等が漏洩する可能性がある



### 上記のようなリスクを低減するためには、以下のようなポイントがあります



- スマホ決済サービスを利用するアカウントは二段階以上の多要素認証に対応しているか？
- クレジットカード登録に3Dセキュア（クレジットカード本人認証サービス）を必須としているか？
- スマホ決済時の通信は暗号化（SSL/TLS）されているか？

また、どれだけ気をつけていても不正利用の可能性をゼロにすることは出来ません。

そのため「不正利用されてしまった場合の損失補てん」もスマホ決済サービスを選択する上で重要なポイントとなります。

2018年12月に発生したPayPayのクレジットカード不正利用や、2019年7月に発生した7payの不正利用といった事件も発生しております。便利なサービスはセキュリティも気をつけながら利用しましょう。

総務・システム係

内線: 22390/22490

Email: icccj@sapmed.ac.jp

### ◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス（カウンター）
学内所属員の文献複写依頼に関すること	24180	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	24170		
図書に関すること	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LANへの機器接続に関すること	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24180	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス

誌名「Barks（パークス）」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮（liber）」の英訳です。

パークス  
**Barks**

Sapporo Medical University  
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人  
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目  
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/>

E-mail [libserv@sapmed.ac.jp](mailto:libserv@sapmed.ac.jp)